



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 株式会社ファルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4671 URL <https://www.falco-hd.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 社長執行役員（氏名）安田 忠史
 問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員管理室長 （氏名）黒田 修平 TEL 06-7632-6150
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	11,003	0.7	546	19.9	637	18.8	385	20.2
2026年3月期第1四半期	10,930	2.0	455	19.7	536	20.3	321	22.2

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 287百万円（△36.0％） 2026年3月期第1四半期 448百万円（1.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	38.58	38.54
2026年3月期第1四半期	31.65	31.61

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	37,127	25,383	68.2
2026年3月期	36,863	25,869	70.0

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 25,321百万円 2026年3月期 25,803百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	62.50	—	62.50	125.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	64.00	—	64.00	128.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	44,300	1.7	2,700	8.1	2,850	6.0	2,020	0.2	201.79

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	10,680,177株	2026年3月期	10,680,177株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	708,309株	2026年3月期	669,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	10,001,874株	2026年3月期1Q	10,145,455株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復傾向にあるものの、中東情勢の影響を受けた物価高騰やエネルギー価格の上昇、不安定な国際情勢の影響による為替・金利の変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く受託臨床検査市場では、少子高齢化の進行を背景に医療費抑制政策が一貫して進められており、物価高騰や賃金上昇を背景としたコスト上昇の影響等により事業環境は引き続き厳しい状況にあります。一方で、ゲノム医療における遺伝学的検査の重要性が注目されており、遺伝子情報を活用した個別化医療への期待が高まっております。また、調剤薬局市場におきましては、調剤報酬及び薬価の改定による影響が大きく、より厳しい事業環境となっております。医療情報システム市場におきましては、医療DXの実現に向け、情報通信、デジタル技術やデータを活用した新たなビジネスやサービスの創出が期待されております。

このような状況のもと、当社グループは、2024年5月に長期ビジョン「FALCO VISION 2030」・中期経営計画「FALCO INNOVATION 2026」を策定し、中長期的な持続的成長に向けた収益基盤を確立するために、基盤事業である臨床検査事業・調剤薬局事業の事業変革を推進するとともに、成長事業であるゲノム事業・ICT事業の更なる成長に向けた取り組みを推進しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主に臨床検査事業の売上高、営業利益が増加したことにより、売上高は11,003百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は546百万円（同19.9%増）、経常利益は637百万円（同18.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は385百万円（同20.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、大都市圏を重点地域とした事業展開を進めるとともに、販売価格の適正化を推進したことにより、受託数は増加し、収益が改善いたしました。また、情報化の推進による集荷体制の強化や検査業務の効率化を推進することにより、生産性の向上に取り組んでおります。

ゲノム事業におきましては、体外診断用医薬品「MSI検査キット（FALCO）」の販売が堅調に推移し、周産期医療に係る遺伝子検査につきましては受託数が増加いたしました。また、遺伝性腫瘍パネル検査の薬事申請・保険適用に向けた研究開発を推進しております。

このような事業展開の結果、臨床検査事業の売上高は6,939百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は551百万円（同11.0%増）となりました。

② 調剤薬局事業

当第1四半期連結累計期間に1店舗閉局したことにより、当第1四半期連結会計期間末において当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は100店舗（フランチャイズ店3店舗含む）となりました。

調剤薬局事業におきましては、かかりつけ薬剤師・薬局として求められる役割・機能を果たすとともに、高齢者施設及び在宅を中心とした地域医療との連携を進め、既存店舗の処方箋応需の拡大に取り組んでまいりましたが、店舗数減少等の影響による処方箋応需枚数の減少や薬価改定に伴う薬剤納入価の変動により、売上高は3,694百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は27百万円（同10.1%減）となりました。

③ ICT事業

ICT事業におきましては、販売活動を推進したことにより、診療所向けクラウド型レセプト総合支援サービス「レセスタ」の契約数及び中小規模病院向けクラウド型電子カルテ「HAYATE/NEO」の受注数は、増加いたしました。また、医療DXの推進を見据えた顧客基盤の確立とサービス価値向上に向け、機能開発を推進するとともに、新たに薬局・介護施設向け服薬管理サービス「ピクスリー」の販売を開始いたしました。

このような事業展開の結果、ICT事業の売上高は368百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は人件費の増加や販売・開発コストの増加により63百万円（同19.1%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に棚卸資産の増加により、前連結会計年度末に比べ263百万円増加し、37,127百万円となりました。

負債は、主に仕入債務の増加により、前連結会計年度末に比べ749百万円増加し、11,743百万円となりました。

また、純資産は、主に自己株式の取得及び配当金の支払いにより、前連結会計年度末に比べ486百万円減少し、25,383百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月12日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,267	8,684
売掛金	6,205	5,977
商品及び製品	702	1,083
仕掛品	90	101
原材料及び貯蔵品	437	542
その他	1,437	2,260
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	18,138	18,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,626	10,641
減価償却累計額	△5,408	△5,495
建物及び構築物（純額）	5,218	5,145
土地	5,388	5,388
リース資産	1,327	1,327
減価償却累計額	△1,251	△1,259
リース資産（純額）	75	68
その他	5,178	5,247
減価償却累計額	△3,965	△4,026
その他（純額）	1,212	1,220
有形固定資産合計	11,895	11,823
無形固定資産		
その他	610	588
無形固定資産合計	610	588
投資その他の資産		
投資有価証券	3,852	3,709
その他	2,371	2,361
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	6,219	6,066
固定資産合計	18,724	18,478
資産合計	36,863	37,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,346	5,186
短期借入金	350	350
未払法人税等	598	266
引当金	479	200
その他	1,868	2,475
流動負債合計	7,643	8,477
固定負債		
長期借入金	673	673
退職給付に係る負債	1,580	1,555
資産除去債務	271	273
その他	824	763
固定負債合計	3,350	3,265
負債合計	10,993	11,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,309	3,307
利益剰余金	19,775	19,495
自己株式	△1,492	△1,594
株主資本合計	24,963	24,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	839	741
その他の包括利益累計額合計	839	741
新株予約権	66	61
純資産合計	25,869	25,383
負債純資産合計	36,863	37,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,930	11,003
売上原価	7,494	7,455
売上総利益	3,435	3,547
販売費及び一般管理費	2,979	3,000
営業利益	455	546
営業外収益		
受取配当金	68	63
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	18	31
営業外収益合計	86	95
営業外費用		
支払利息	1	1
支払手数料	2	2
その他	2	0
営業外費用合計	6	4
経常利益	536	637
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	536	637
法人税、住民税及び事業税	218	249
法人税等調整額	△2	2
法人税等合計	215	252
四半期純利益	321	385
親会社株主に帰属する四半期純利益	321	385

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	321	385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	127	△98
その他の包括利益合計	127	△98
四半期包括利益	448	287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	448	287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ICT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,866	3,744	319	10,930	—	10,930
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	6,866	3,744	319	10,930	△0	10,930
セグメント利益	497	30	78	606	△150	455

(注) 1. セグメント利益の調整額△150百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△361百万円及び内部取引の消去に伴う調整額211百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ICT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,939	3,694	368	11,003	—	11,003
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	6,939	3,694	368	11,003	△0	11,003
セグメント利益	551	27	63	642	△96	546

(注) 1. セグメント利益の調整額△96百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△327百万円及び内部取引の消去に伴う調整額231百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	235百万円	269百万円